



ることもしていきたいです。また、いろいろなキーワードも知ることができ、これからの指導に役立てたいと思います。何のために勉強するのか、ということをもう一度考えていきたいです。中学校では、担任が話をする場面は少ないですが、その少ない機会をどのように使うのか、言葉がけをするのかをよく考えたいです。今日は、ありがとうございました。



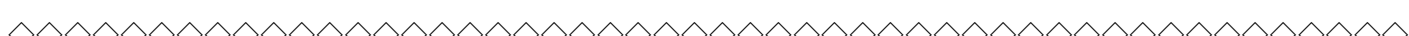
聞くたびに思い浮かべること、当てはめること、つながっていくことが違うんです。だから清水さんの話は定期的に聴かなければなりません。今回は、上柳智寛たちと一緒にいたころのことを思い出したり、西箕輪中での子どもたちや先生たちとの関係のことをたくさん思い浮かべたりしました。そして何より、この濃密な2年間、清水さんとお話してから自分の人生が得たもの、ちっとも変えられてなくてもどかしいもののことを神返で（考えて）まだグレードアップできる自分があることを確かめられました。いつも、ありがとうございます。またよろしくおねがいします。見捨てないでくださいね。



とても良い講演会でした。ワクワクする心をつくる、最強の5つの習慣術、イメージする事がとても大切という事、指の長さが長くなる本当に不思議ですが、イメージする事で良い方向にも行くと言う事が身を持ってわかりました。清水社長（先生）の夢ケーキですが子供が保育園の時に開催していただいて、親子の大切な時間、共同作業が出来たと思います。素晴らしい活動だと思います。



チームとグループの違いから始まり、組織作り、チーム作り、マネジメントに関して、また、自分自身に関して大変参考になりました。良いチーム作りに関して「3つのキーワード」「5つの共有」があり、この中でも課題をクリアしていく部分、困難・課題は俺の出番だと思えるよう気持ちを切り替えていきたいと感じました。また、あなたの短所は誰かの「出番」をつくる！との言葉に救われました。



「クラスの担任の先生が、『このクラスにはこういう問題があるよね』って言っちゃうと、それは問題にならないんですね。子どもたちには。先生の問題であって、子どもたちの問題ではないんです。」というお話には、ギクリとしました。しかし同時に、納得でもありました。受動的か、能動的か。自主的か、主体的か。この違いであると感じました。

今年度の上伊那教育講演会も、参加した多くの先生方にとって、大変よい学びがあった、実りのある会になったかと思えます。ご参加いただいた先生方、清水さん、ありがとうございました。